



女子美術大学美術館収蔵作品展

2013

11/9_(土) - 12/15_(日)


開館時間 = 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 = 火曜日 入館料 = 一般 300円

※学生・未就学児・65歳以上・身体障がい者手帳等をお持ちの方は無料

主催 = 女子美術大学美術館 後援 = 相模原市、相模原市教育委員会

【展覧会特設サイト】 <http://www.joshi.ac.jp/jam/13shiki/>

JAM 女子美術アートミュージアム  女子美術大学

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス
【Tel】 042-778-6801 【Fax】 042-778-6815 【大学 H.P】 <http://www.joshi.ac.jp>



女子美術大学美術館
収蔵作品展



三岸 節子《夜》1970年 © MIGISHI



郷倉 和子《古里の梅(明日香)》2000年



芹沢 銑介《1953年 カレンダー》

日本人は古くから季節の移り変わりを大切にしてきました。季節を愛でるまなざしは様々なものに注がれ、それはいろいろな手法で表現されてきました。特に季節と美術は切っても切りはなせないものと言えます。絵画では、風景画はもちろん、人物画や抽象画であっても折々の風物が表され、私たちの目を楽しませてくれます。この度、本展では女子美術大学美術館のコレクションの中から、四季をあらわした絵画作品をご紹介します。あわせて、重要無形文化財「型絵染」保持者の芹沢銑介(1895～1984)が手がけた染紙のカレンダーを展示致します。画家たちが描き出した表情豊かな四季の情景をお楽しみください。



柿内 青葉《月見草咲く庭》1926年



田村 一男《雪国》1984年

関連イベント

1. 講演会

「芹沢銑介と民藝」

1949年から1960年まで女子美術大学で教鞭を執り、教育の礎を築いた芹沢銑介。その制作活動についてお話いただきます。

日時：11/13(水) 16:40～ 1時間30分程度

講師：杉山享司氏(日本民藝館学芸部長)

人数：100名程度(申込受付順) 費用：無料(ただし入館料は必要)

場所：10号館1階1011スタジオ

※事前申込必要。下記を明記の上、Tel・Fax・メールのいずれかで

お申込ください。①イベント名 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤参加人数

2. ワークショップ

「天然顔料で型染めのグリーティングカードをつくろう」

型紙を自分で彫り、天然顔料をステンシルのように刷込んで、和紙のオリジナルグリーティングカード(はがき大)をつくります。

日時：12/1(日) 13:30～ 2時間程度

講師：佐藤千香子氏(染色作家 女子美術大学卒)

対象：小学校高学年以上

人数：15名(申込受付順) 費用：1,000円(入館料込み)

場所：10号館1階1011スタジオ

※事前申込必要。下記を明記の上、Tel・Fax・メールのいずれかで

お申込ください。①イベント名 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤参加人数

3. ギャラリートーク

女子美生が作品の魅力を語ります。

日時：①11/16(土) ②11/30(土) ③12/7(土)

いずれも13:30～ 1時間程度

場所：女子美アートミュージアム展示室

費用：無料(ただし入館料は必要)

※事前申込不要。開始時間に受付へお集まりください。

JAM 女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス

【Tel】042-778-6801 【Fax】042-778-6815 【メール】bsk@venus.joshibi.jp

【展覧会特設サイト】<http://www.joshibi.net/jam/13shiki/>

交通案内

●小田急線相模大野駅北口3番バス乗り場から「女子美術大学」行き 乗車約20分

※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗り場乗車

●JR横浜線古淵駅2番バス乗り場から「女子美術大学」行き 乗車約15分

◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください

